

A/C DESIGN BY  
**ALPHA CUBIC**



 **CROSS PLUS**

第65期 報告書

2017年2月1日～2018年1月31日

証券コード 3320

## アパレルの生命線 “企画提案力”強化に取り組みます

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃より、クロスプラスグループをご支援いただきまして、誠にありがとうございます。ここに第65期（2017年2月1日～2018年1月31日）の報告書をお届けいたします。

当期のアパレル業界は、気温低下による防寒衣料需要の盛り上がりやインバウンド需要により百貨店で高額品が好調に推移するなど一部では明るい話題が見られたものの、衣料品市場では、消費者の節約意識が依然として根強いことから、総じて厳しい事業環境が続きました。

このような事業環境のもと、当社グループは、3か年の中期経営計画の目標である「製造卸売事業の安定した収益基盤の確立」の実現に取り組んでまいりました。各種施策の成果により、上期までは順調に推移したものの、下期に入り、消費者ニーズが価格志向の強い商品へ流れたことを受け、販売単価が低下した結果、減収減益となりました。来期に向けては、課題に対しての施策を進めていくとともに、もう一度アパレルの生命線である“企画提案力”の強化に取り組んでまいります。そして、商品だけではなく、什器や雑貨、販促を掛け合わせ、売場をトータルで企画提案できる総合アパレル企業を目指してまいります。

目まぐるしく移り変わるファッション市場において、求められるのは変化へのスピーディーな対応です。私たちクロスプラスグループは環境の変化に対応するため、自ら変わっていきます。そして、社名にありますように、社員一人ひとりがプラスアルファの価値を創り上げることで、更なる企業価値の向上を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



やまもと ひろのり  
代表取締役社長 山本 大寛

### Contents

株主の皆様へ	1
決算概況・連結業績の推移	2
トピックス	3
オンラインショップ・HPのご紹介	6
連結財務諸表	7
グループ会社別実績	8
会社概要・株式の状況	9
株主優待制度のご紹介・株主メモ	10

## 決算概況

### 2018年1月期の業績について

2018年1月期の連結業績は、売上高627億80百万円（前年比96.4%）、営業利益は3億85百万円（前年比44.4%）、経常利益は5億26百万円（前年比59.2%）となりました。当期純利益に関しては、当社の業績動向等を勘案し、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、回収可能性のある繰延税金資産を計上したことにより、法人税等調整額（△は益）を△2億5百万円計上することで、6億66百万円（前年比81.2%）となりました。

売上高は、新規販路の拡大を進めた専門店・無店舗向けで伸びたものの、量販店、百貨店小売で減少しました。そして、ファッショントレンド商品よりも価格指向の強い商品要望が強まり販売単価が低下しましたが、販売数量増で

補うことができませんでした。

利益面では、主力工場への生産集約の推進、中国工場の納期・品質の管理強化、またアセアン地域での生産比率向上などに取り組み、原価低減を進めてまいりました。しかしながら、中国での環境規制の影響から、当社が得意とする短納期生産でのモノづくりが行いにくい環境が続き、コストの増加などが利益を圧迫し、売上総利益率は前年を下回る結果となりました。また、経費削減では、物流の効率化や小売店舗の整理、東京オフィスビルのフロア集約に伴う賃料削減と自社ビルの賃貸収益化を進めました。

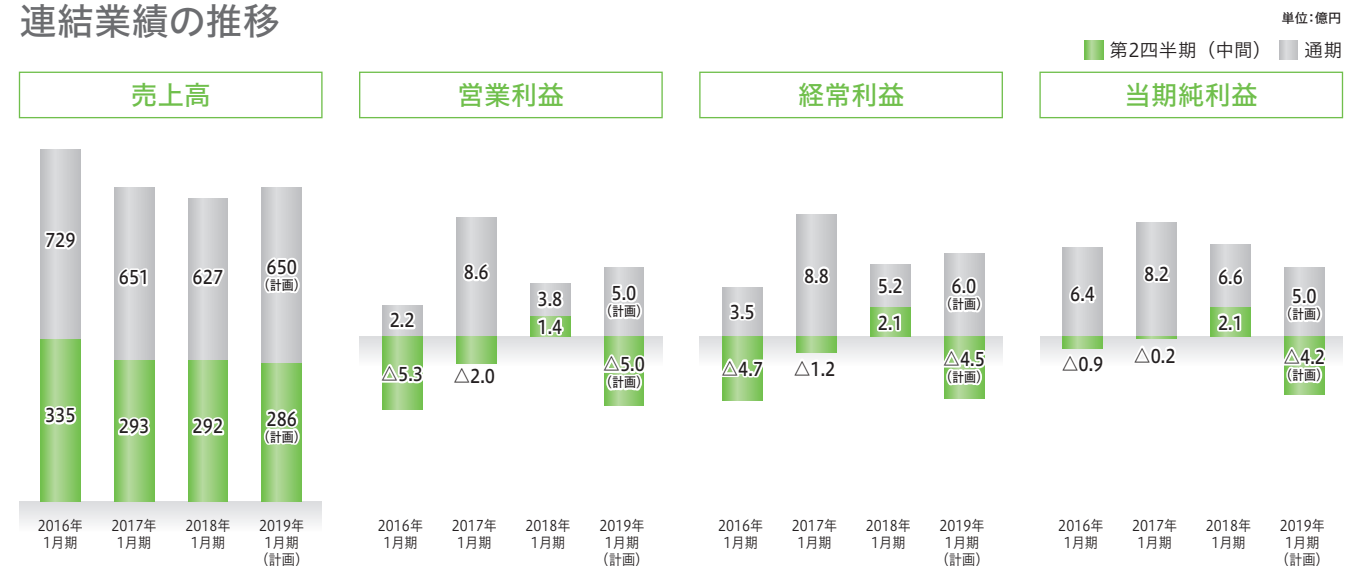
### 2019年1月期の施策について

今後、衣料品市場では、消費者の節約意識の影響や中国での生産コスト上昇が続くと予想されます。こうした状況のなか、売上対策としては、低価格商品への対応、専門店向け販路の拡大、ブランドコーナー展開の拡大の3つに取り組めます。低価格商品への対応は、アセアン生産割合を高めるとともに、生産ロットの大きい商談を早期受注し、素材の集約と貿易コストを抑えます。専門店向け販路の拡大は、ロードサイド型大手専門店チェーンの単品PB企画として素材からの大ロット商品を増やしていきます。新規向けは専門営業組織を強化します。ブランドコーナーの拡大は、量販店対策として、地方で集客のある

店舗への出店を進めます。また、利益対策としては、主力工場への生産集約、不良品の削減、アセアン生産の拡大などコスト削減を進め、収益改善に努めてまいります。なお、当社は2018年2月1日、メンズを主力としたアパレルODM、OEM事業を行う株式会社サードオフィスをグループ化しました。これにより、メンズ商品、専門店やセレクトショップ向け販路を強化してまいります。

これらの取り組みにより、2019年1月期の連結業績見通しにつきましては、売上高650億円、営業利益5億円、経常利益6億円、当期純利益は5億円を予想しております。

## 連結業績の推移



## TOPICS① サードオフィスのグループ化

メンズを中心とした  
アパレルの相手先ブランドの  
企画製造事業を行う  
(株) サードオフィスをグループ化

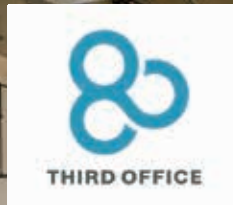


2018年2月1日、メンズを主力として相手先ブランドの企画製造事業やブランド開発、デザイン受託を行う株式会社サードオフィスをグループ化しました。

株式会社サードオフィスは、企画・デザイン力を強みとしており、セレクトショップや有力製造小売業等の幅広い顧客との取引を展開しています。

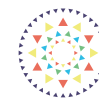
株式会社サードオフィスのグループ化による効果は、メンズ商品の強化と専門店・セレクトショップの販路拡大です。

今後は、両社の企画・デザイン・販売力の活用を進めるとともに、当社の生産管理、ローコストオペレーションを組み合わせることで、クロスプラスグループを成長させていきます。



## TOPICS② 新ブランド紹介

ヨガをテーマにしたスポーティーブランド  
「Lalibertas ラリベルタス」



# Lalibertas

2018年夏から、ヨガをテーマにしたブランド「Lalibertas ラリベルタス」の展開をスタートします。

「Lalibertas ラリベルタス」は、健康で美しい毎日を送る“ヨガライフ”をコンセプトにしています。

ヨガのインストラクターからのアドバイスを企画に反映させ、セレクトショップや専門店等の販路に企画提案していきます。



## TOPICS③ 東京の所有物件の賃貸事業



## 東京の所有物件を 賃貸事業として活用

中央区で最大規模の保育園に賃貸しています。



## ルームウェア&ナイトウェア

2018年秋冬よりアパレルメーカーならではの、自由な発想で作り上げる  
 ルームウェア・ナイトウェアブランドがスタートします。  
 働き方の変化に伴い家で過ごす時間にも変化が起きています。  
 よりよい“おうち時間”を過ごすための“くつろ着”を私たちは提案していきます。



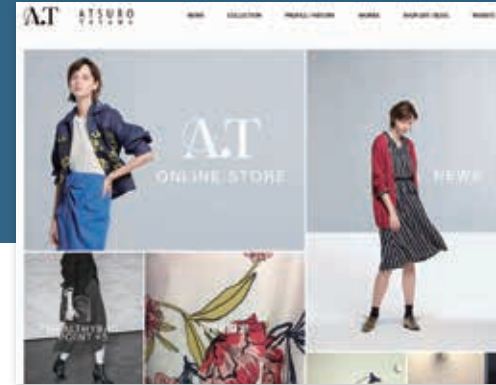
“近ごろルームウェアに注目が集まっています”

1日の約3分の1は睡眠時間。  
 家事やくつろぎの時間は平日で約6時間、休日で約11時間。  
 自分が思っている以上におうちで過ごす時間はとても大切な時間なのです。

## オンラインショップ・HPのご紹介

### ATSURO TAYAMA

<http://www.at-atsurotayama.com/>



### クロスプラスオンラインショップ

<http://www.crossplus.jp/>



### JUNKO SHIMADA

<http://www.junkoshimada.jp/>



### HPのご紹介

当社グループホームページでは、IR情報や決算情報をはじめ、当社をよりよくご理解いただくための情報をご覧いただけます。



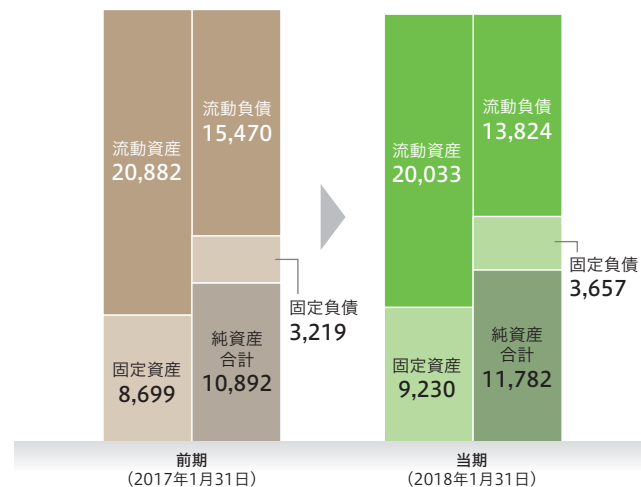
<http://www.crossplus.co.jp/>

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

単位: 百万円

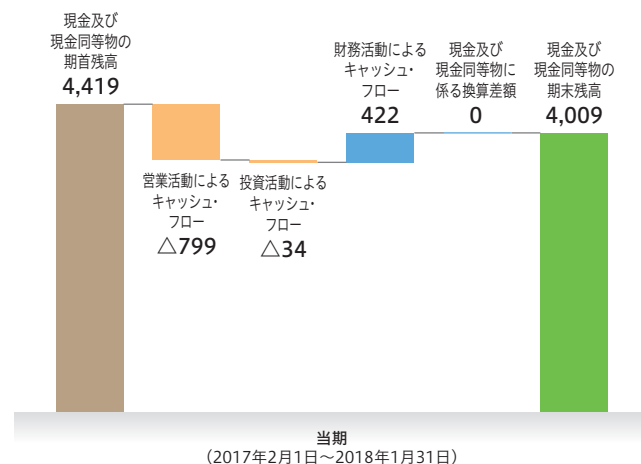
科目	前期 (2017年1月31日)	当期 (2018年1月31日)
(資産の部)		
流動資産	20,882	20,033
固定資産	8,699	9,230
資産合計	29,581	29,264
(負債の部)		
流動負債	15,470	13,824
固定負債	3,219	3,657
負債合計	18,689	17,481
(純資産の部)		
株主資本	9,714	10,344
その他の包括利益累計額合計	1,178	1,424
新株予約権	—	13
純資産合計	10,892	11,782
負債純資産合計	29,581	29,264



## 連結キャッシュ・フロー計算書

単位: 百万円

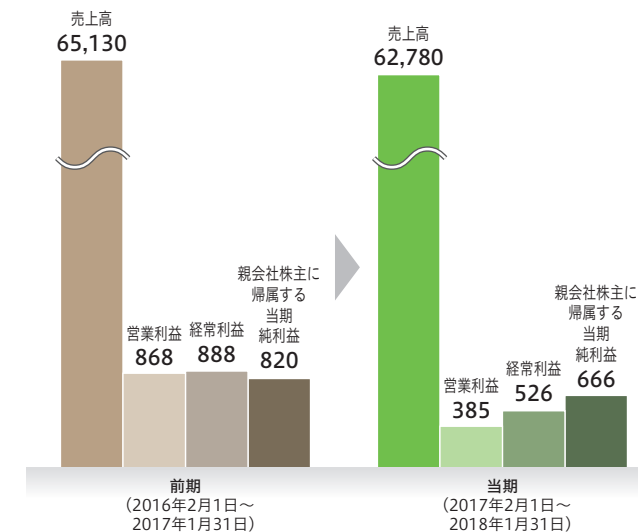
科目	前期 (2016年2月1日～ 2017年1月31日)	当期 (2017年2月1日～ 2018年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	321	△799
投資活動によるキャッシュ・フロー	199	△34
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,083	422
現金及び現金同等物に係る換算差額	△90	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△653	△410
現金及び現金同等物の期首残高	5,415	4,419
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△342	—
現金及び現金同等物の期末残高	4,419	4,009



## 連結損益計算書

単位: 百万円

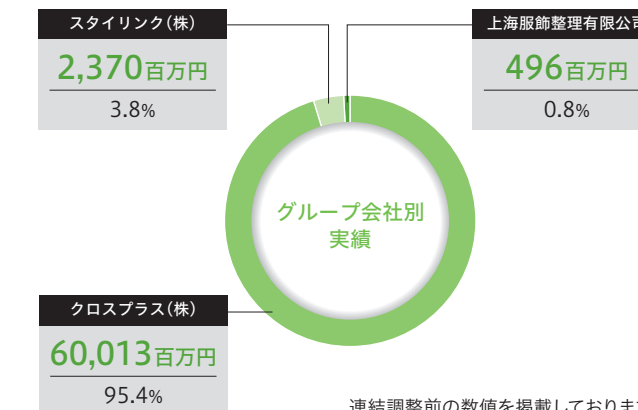
科目	前期 (2016年2月1日～ 2017年1月31日)	当期 (2017年2月1日～ 2018年1月31日)
売上高	65,130	62,780
売上総利益	13,073	12,469
販売費及び一般管理費	12,205	12,083
営業利益	868	385
営業外収益	178	237
営業外費用	157	96
経常利益	888	526
特別利益	128	—
特別損失	170	6
税金等調整前当期純利益	846	519
法人税等合計	26	△147
親会社株主に帰属する当期純利益	820	666



## グループ会社別実績

単位: 百万円

会社名	売上高		
	2017年 1月期	2018年 1月期	前年比
クロスプラス(株)	62,158	60,013	96.5%
スタイリンク(株)	2,685	2,370	88.3%
上海服飾整理有限公司	396	496	125.3%
連結調整	△109	△99	—
連 結	65,130	62,780	96.4%



## 会社概要・株式の状況

### 会社概要 (2018年1月31日現在)

事業内容	婦人、女兒向けアウターウェア全般を企画製造し、量販店、専門店等への卸売及び百貨店等での小売
創業	1951年8月
設立	1953年4月
資本金	1,944百万円
代表者	代表取締役社長 山本 大寛
従業員数	705名(連結)、629名(単体)
事業所	本社：名古屋市中区花の木3-9-13 東京支店：東京都中央区日本橋浜町3-3-2 物流センター：中部、CP流通
グループ会社	スタイリンク(株)：東京都 客楽思普勒斯(上海)服飾整理有限公司： 検品センター(上海、青島、烟台、南通)

### 株式の状況 (2018年1月31日現在)

会社が発行する株式の総数	31,600,000株
期末発行済株式総数	7,718,800株
期末株主総数	9,510名
期末単元株主数	9,209名

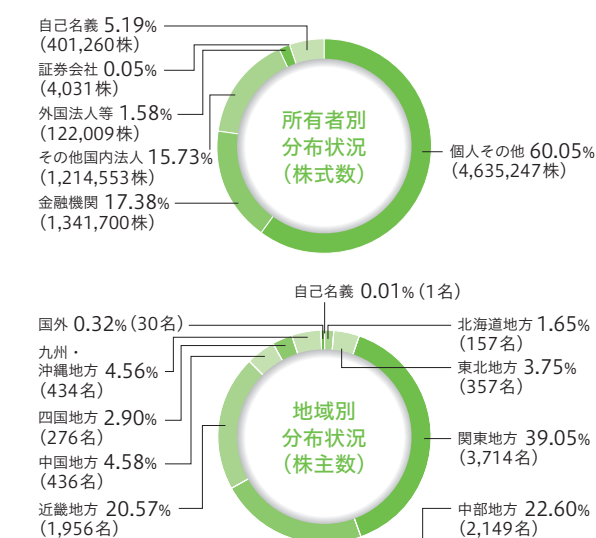
#### 大株主

株主名	株式数(株)	持株比率(%)
辻村 隆幸	593,650	7.69%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	537,500	6.96%
クロスプラス社員持株会	343,660	4.45%
田村駒株式会社	238,400	3.08%
森 文夫	224,630	2.91%
株式会社ヤギ	218,600	2.83%
有限会社シーピーモア	173,350	2.24%
株式会社三菱東京UFJ銀行	166,000	2.15%
辻村 幸子	138,850	1.79%
CP共栄会	136,300	1.76%

※当社は自己株式401,260株(持株比率5.19%)を保有しております。

### 役員の状況 (2018年4月25日現在)

代表取締役社長	山本 大寛
取締役会長	森 文夫
取締役副会長	辻村 隆幸
常務取締役	北出 哲男
取締役	西垣 正孝
社外取締役	大爺 正博 江口 恒明
常勤監査役	曾我 孝行
監査役	虫鹿 宏
社外監査役	川合 正 松永安彦
常務執行役員	鈴木 英司 西尾 祐己 大口 浩和
執行役員	丸尾 裕之 柳瀬 努 内藤 法子



## 株主優待制度のご紹介・株主メモ

### 株主優待制度のご紹介

毎年1月31日(決算期)現在の株主名簿に記載された100株(1単元)以上を保有する株主様に対して、「クロスプラスグループの選定商品」と「クロスプラスオンラインショップのクーポン券」のいずれかをお選びいただき、ご所有株式数に応じて次のとおり贈呈いたします。

ご所有株式数	選択制	
	当社グループ選定商品の場合	クーポン券の場合
100株以上 500株未満	小売価格 3,000円相当	3,000円
500株以上 1,000株未満	小売価格 5,000円相当	5,000円
1,000株以上	小売価格 10,000円相当	10,000円

### 特別優待

上記の他に、抽選で株主様に30万円相当の旅行券を贈呈いたします。年1回定時株主総会の終了後に、総会会場にて抽選会を実施し決定いたします。

抽選の対象となる株主様	当選数
①毎年1月31日現在の株主名簿に記載された100株以上を保有する株主様 ②直近の期末株主名簿から100株以上を3年以上継続して保有(期末・中間株主名簿に同一の株主番号で連続7回以上記載)の株主様	①の株主様の中から10名様 ②の株主様の中から2名様 (ただし、①と重複当選の場合は無効といたします)

### 株主メモ

決算期	毎年1月31日
定時株主総会	毎年4月開催
基準日	・定時株主総会 1月31日 ・期末配当金 1月31日 ・中間配当金 7月31日

単元株式数 100株  
上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部  
名古屋証券取引所市場第二部

公告の方法 公告は電子公告にて行います。ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

電子公告掲載URL <http://www.crossplus.co.jp/>  
株主名簿管理人及び特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話照会先 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
- 未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
- 配当金計算書について  
配当金支払いの際送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。  
\*確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

### 配当政策

- 今後の財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当を継続していくことを基本方針としています。
- 2018年1月期の1株当たりの配当金は、6円とさせていただきます。

	2017年 1月期	2018年 1月期
第2四半期末	—	3.0円
配当金	期末 2.0円	3.0円
	年間 2.0円	6.0円
配当性向	1.8%	6.6%



CROSS PLUS

クロスプラス株式会社

〒451-8560 名古屋市西区花の木3-9-13

TEL 052-532-2211(代)

<http://www.crossplus.co.jp/>